

設計課題 市街地に建つ診療所等のある集合住宅(地下1階、地上5階建)

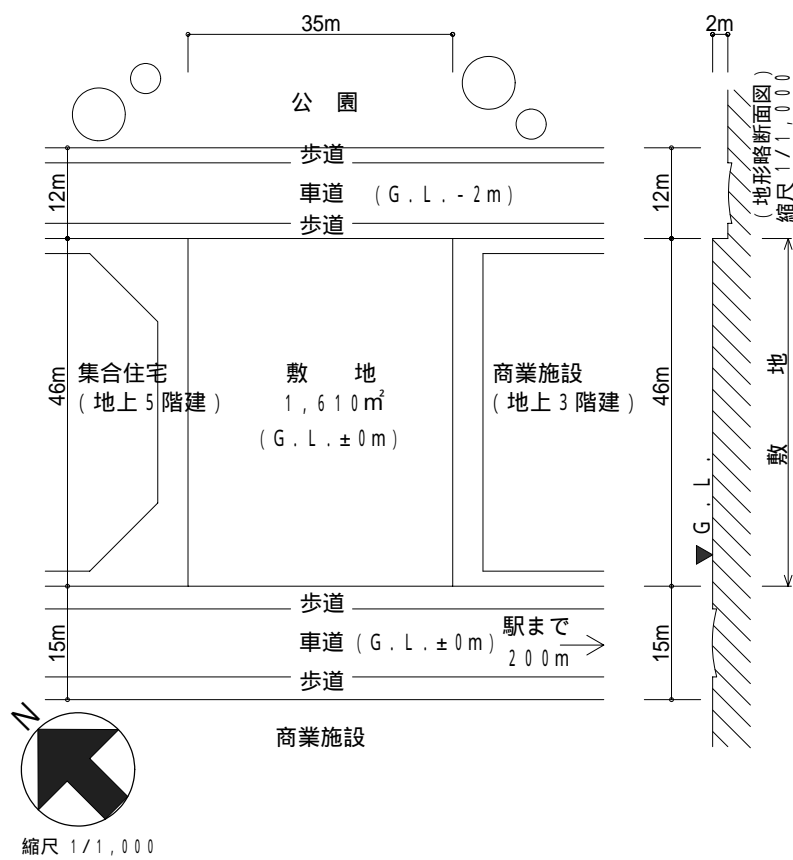
設計条件

この課題は、大都市近郊の市街地において、診療所(患者を入院させるための施設を有しない。)及びレストランを併設し、多様な生活様式に対応できる集合住宅を計画するものである。また、この集合住宅には、居住者の利便性等を考慮して、地下1階に居住者専用の駐車場を設けるものとする。

計画に当たっては、特に次のことが求められている。
 住宅部門、診療所部門及び共用部門を適切にゾーニングした計画とする。ともに、各部門の動線に配慮した計画とする。
 住戸については、採光、日照、通風等に配慮した計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平坦で、南西側道路及び隣地との高低差はない。北東側道路は敷地から2m低い位置にある。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできる。北東側敷地境界には擁壁があり、適宜撤去できる。
- (3) 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域。また、建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は300%。



2. 建築物

- (1) ラーメン構造による鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造としてもよい。)、地下1階、地上5階建ての1棟の建築物。
- (2) 床面積の合計は、3,000㎡以上、3,600㎡以下。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、住宅部門(2~5階)の共用廊下は、床面積に算入しない。
- (3) 主要な階段及びスロープについては、次のとおり。
階段は、幅を1.4m以上、けあげの寸法を16cm以下、踏面の寸法を30cm以上。
スロープは、幅を1.5m以上、勾配を $\frac{1}{12}$ 以下。
- (4) 構造計画については、地階部分の計画と地上階部分の計画が、構造的に整合性のある計画とする。
- (5) 設備計画については、次のとおり。
空気調和設備は、空冷ヒートポンプパッケージ方式(住戸部分は除く。)。エレベーター(機械室が不要なものとする。)は、居住者用として、乗用1基(トランク付き9人乗)。各階に着床できるように計画。

3. その他の施設等

- (1) 地上に設ける駐車場は、平面駐車とし、診療所部門用として2台分、車いす使用者用として2台分、サービス用として1台分。
- (2) 駐輪場は、居住者用として30台分、利用者用として10台分。1台当たりの駐輪スペースは0.5m×2m程度。
- (3) ごみ置場(10㎡)。
- (4) 敷地内に設ける歩行者用のスロープは、巾を1.5m以上、勾配を $\frac{1}{5}$ 以下。
- (5) (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しない。

4. 所要室

下表の室は、すべて計画。

部門	室名	床面積	設置階	特記事項
住宅部門については、防犯に配慮した計画とする。				
住宅部門	住戸A (計8戸)	1戸当たりの専用面積 約85㎡	2~5階	・各階に2戸計画。 ・室構成は、2LDK。 ・各住戸にバルコニー。 ・間口6.5m以上。
	住戸B (計12戸)	1戸当たりの専用面積 約50㎡	2~5階	・各階に3戸計画。 ・室構成は、1LDK。 ・各住戸にバルコニー。 ・間口5.0m以上。
	コミュニティルーム	約40㎡	1階	
	居住者用エントランス	適宜	1階	・共用部門のエントランスホールにもアクセスできる。 ・エレベーターホール及びメールボックスを設ける。
	管理事務室	約20㎡	1階	・居住者の出入りを管理。 ・受付カウンターを設ける。
	居住者用駐車場 (計18台)	適宜	地下1階	・自走式とし、平面駐車。 ・普通乗用車16台分(1台当たり2.5m×5.5m)及び車いす使用者用2台分(1台当たり3.5m×5.5m)。 ・駐車場へアプローチする車路は、有効幅員5.5m以上、傾斜部の縦断勾配1/6以下、梁下の高さ2.3m以上。
診療所部門	待合室	約30㎡	1階	・共用部門のエントランスホールからの入口を設ける。 ・子供用の遊びコーナーを設ける。
	事務室・受付	約15㎡	1階	・受付カウンターを設ける。 ・薬局を兼ねる。
	診察・処置室	計約50㎡	1階	・2室(約25㎡/1室)を設ける。
	X線室	約20㎡	1階	・操作室を設ける。
	検査室	約15㎡	1階	・便所(1)に隣接、検尿口を設ける。
	便所(1)	適宜	1階	・男女兼用、採尿室を兼ねる。 ・車いす使用者等にも対応した多機能な便所。
	職員控室	適宜	1階	・男性用、女性用として各1室。 ・便所(職員用)を設ける。
倉庫(1)	適宜	1階		
共用部門	エントランスホール	適宜	1階	・住宅部門、診療所部門及びレストランとの動線に配慮。 ・風除室を設ける。
	レストラン	約120㎡	1階	・外部からも直接アプローチできる。 ・厨房及び便所(従業員用)を設ける。
	便所(2)	適宜	1階	・男性用、女性用及び車いす使用者等に対応した多機能な便所。
	倉庫(2)	適宜	1階	
	電気・機械室	約150㎡	地下1階	・ドライエリアを付設。

(注)上記の床面積の合計(適宜を除く。)は、約1,740㎡。

要求図面等

1. 要求図面

図面及び縮尺	特記事項
(1) 地下1階平面図 1/200	建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入。 室名等を記入。 パイプシャフトの位置を図示。PSと記入。
(2) 1階平面図兼配置図 1/200	1階平面図兼配置図には、次のものを図示。 イ. 断面図の切断位置 ロ. 建築物の出入口 ハ. ドライエリアの位置
(3) 基準階平面図 2~5階 1/200	ニ. 駐車場(台数及び出入口を明示。) ホ. 駐輪場(台数を明示。) ヘ. ごみ置場 ト. 通路、植栽等 住戸A、住戸B、コミュニティルーム、待合室、診察・処置室、レストランの床面積を記入。 住戸については、次のものを図示。 イ. 代表的な住戸Aの室内プラン ロ. 代表的な住戸Bの室内プラン ハ. 各住戸の出入口、PS ニ. 住戸Aの表示(A ₁ 、A ₂) ホ. 住戸Bの表示(B ₁ 、B ₂ 、B ₃)
(4) 断面図 1/200	地下1階平面図には、車路、駐車スペース等を図示。駐車台数及び傾斜部の勾配を明示。 基準階平面図は、2階とし、直下階の屋根、ひさし等となる部分を図示。 切断位置は、住戸A又は住戸Bを含み、建築物の全体の立体構成(地下1階~地上5階)がわかる断面(南西-北東)。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わない。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入。 居住者用駐車場への傾斜路を点線で図示。 基礎、梁及びスラブの断面を図示。

2. 構造計画及び設備計画の要点

構造計画に関して配慮したことについて、その要点を80字以内で記述。
 設備計画に関して配慮したことについて、その要点を80字以内で記述。

3. 面積表

各階の床面積及びその合計を記入。なお、各階の床面積については、その算定式も記入。

試験場	受験番号	氏名
	□□-□□□□□□	